

小城市が誇れるもの

小城羊羹

明治時代の初めに森永惣吉によって小城の羊羹づくりが始まりました。日清戦争で甘味品として軍隊が買い上げ戦地に送ったところ、保存に優れていたため評判になり、多くの人に知られるようになりました。第二次世界大戦ごろ、物資不足のため生産できない時代もありましたが、それが終わると、甘いものが好きな消費者の支持もあり、日本の経済成長に合わせて生産量を拡大して佐賀県を代表する銘菓の一つとなりました。



郷土の先人



やす ま
高田 保馬

1883年(明治16年)三日月町遠江に生まれ、京都帝国大学哲学科を卒業。京都帝国大学講師を初め九州帝国大学、京都帝国大学などの教授を歴任し、生涯を学問と教育に傾けました。わが国の経済学、社会学の第一人者であり、文学博士で歌人でもありました。1972年(昭和47年)88歳で死去しました。

高田先生が校歌を作詞された学校

- ・三日月小学校 ・北山小学校 ・武雄小学校 ・三里小学校
- ・武雄北中学校 ・小城中学校 ・三日月中学校
- ・有田工業高校 ・佐賀農業高校 ・佐賀西高校 ・佐賀北高校

砥川小学校の取組

平川与四右衛門は、江戸時代に砥川地区で活躍した天才石工であり、佐賀県内はもとより、長崎、熊本、大分県等にも多数の作品が残されています。平川与四右衛門が「天才」と称される所以は、石像としては珍しく、彫りが深くて細かく、髪の毛や爪まで表現してあるからです。本校では、総合的な学習の時間において、四年生が「石工の里」について調べ、故郷のよさとして未来に伝えていくための探究活動を行っています。



「石工の里」ウォークラリー
「石工の里」と平川与四右衛門
について知ろう



石彫体験
表札作りを通して石工技術の
難しさや楽しさを感じよう



「石工の里」版画カレンダー販売
売上げは「石工の里」を未来に
伝える活動に役立てよう

教育委員会所在地：小城市三日月町長神田2312番地2

連絡先：0952-37-6131

学校数：小学校 8校、中学校 4校

三日月小学校の取組

三日月小学校は、高田保馬博士の出身校であり、校内には、高田博士の言葉や、短歌の石碑があります。4年生の総合的な学習の時間では、郷土の偉人として高田保馬博士の人柄や業績を調べ、そこから感じたことや、学んだこと、そして、これからの自分がどう生きたいのかを考え、文章にまとめる活動を行いました。高田保馬博士の生き方に学び、これからの自分の将来について考える機会にしたいと考えています。

毎年、「高田保馬
博士をたたえる会」
での意見発表も行っ
ています。

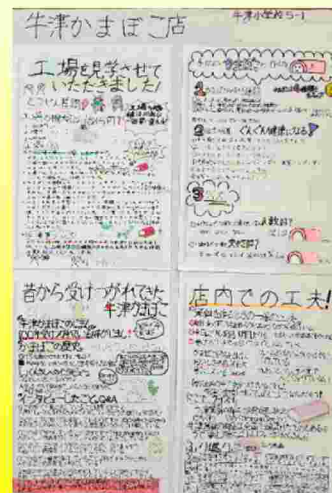


三日月小学校校庭の歌碑



牛津小学校の取組

牛津小学校では、5年生の総合的な学習の時間で、「牛津町をPRしよう」という活動を行っています。牛津町内の商店等について、訪問したり調べたりして、学んだことを発信するという活動です。それぞれの仕事の大変さや大切さ、また職人さんのこだわりや心意気に触れることができたことは児童にとって、とてもよい経験でした。「ふるさと牛津」のよさを紙面いっぱいに散りばめたリーフレットの発表会は大変盛り上がりしました。



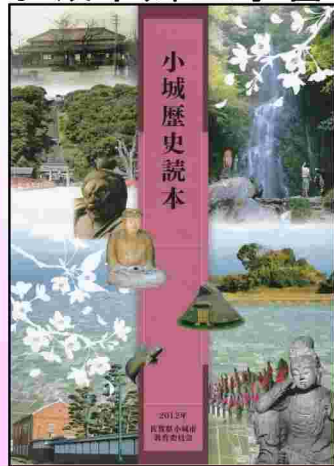
児童が作成したリーフレット



小城市の特徴や誇れるもの

- ・佐賀県のほぼ中央部に位置し、北は秀峰天山を望み、南は六角川を介し、有明海に面した自然豊かな土地である。
- ・春の訪れをつげる牛尾の梅林や小城公園の桜、芦刈海岸のムツゴロウ、初夏には祇園川のホタル、秋には江里山の棚田を彩る彼岸花、冬には天山の頂に白いベールを覆う雪など春夏秋冬のさまざまな姿を見せてくれる。

小城市郷土学習教材



小城歴史読本(H24年作成)

- 内容(全108頁)
- ・郷土の歴史(原始～現在)
 - ・郷土の先人達 12名紹介
 - ・伝統芸能 8個 ・民話 4編



中林梧竹

1827年小城本町の小城藩士中林家に生まれました。1869年藩主に従い京都にいましたが1871年の廃藩置県で帰郷し書道に専念しました。51歳ごろより中国書道に着目し2度清国に渡り書を学んで、書道の奥義を極めて「書聖」と称されました。明治の三大書家の一人です。1913年三日月町の梧竹村荘で死去しました。86歳でした。

三日月中学校の取組

〔1年生〕

郷土について知り、郷土への愛着を深めることを目的として調べ学習を行いました。「郷土について知ろう」～小城市のことについて知識を深めよう～をテーマとして、「小城市の名所or名物or特産物」「小城市出身の人物」から個人で調べたいことを決め、レポートにまとめました。

〔2年生〕

総合的な学習の時間で、職業講話を開催しました。小城市で働いている方を中心に講師としてお招きし、仕事の紹介や魅力等を話していただきました。また、建設業協会小城支部青年部による実技体験も行いました。

小城市の名産や産業、仕事内容を聞いたり、体験したりしたことで、職業について学ぶことが出来ました。生徒たちの地元に対する興味・関心が高まりました。



文化発表会での発表の様子



建設業協会実技体験の様子

教育委員会所在地:小城市三日月町長神田2312番地2

連絡先:0952-37-6131

学校数:小学校 8校、中学校 4校

芦刈観瀾校(小学部)の取組

芦刈観瀾校では、『地域について正しく理解し、故郷を大切に思い、もっとよい町にしたいという願いをもつ子どもたちを育てる』ことを目標に、地域ボランティアの方をゲストティーチャーとしてお招きし、海苔巻体験や太鼓浮立体験などの学習をしています。2月に開催している「ありがとう集会」では、学んだことを発表し、地域ボランティアの方へ感謝の気持ちを伝えています。



海苔収穫機械について



海苔巻体験



太鼓浮立体験

小城中学校の取組

1年生の総合的な学習の時間では、小城市について調査し、その魅力を整理するとともに、さらに魅力的な街にするためのアイデアを考え提案する学習活動を行いました。具体的には、文化、観光、経済、教育、環境、自然、農業・水産業、行政の9つのテーマに分かれ、各クラスでグループごとに調査を進めました。その成果を基に、プレゼンテーションソフトを活用して提案資料を作成し、クラス内で発表会を実施しました。また、クラス代表に選ばれたグループは文化発表会でも提案を発表し、全校生徒や保護者に向けてアイデアを共有しました。

今回の学習を通じて、小城市の魅力を再発見し、それをより豊かにするための提案を考える中で、郷土への理解と愛着を深めることができました。



文化発表会での発表の様子